

No.266

2022年
11月号

さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館
〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

第76回 読書週間

「この一冊に、ありがとう」

10月27日から11月9日は読書週間です。
今年の標語は「この一冊に、ありがとう」。

テレビやYouTubeも良いですが、この期間だけ紙の本に触れてみるのはいかがでしょうか。今まで気付かなかった新たな発見があるかもしれません。

図書館では「読書週間」と「読書の秋」にちなんで色々な企画を開催中。また、かわいいしおりもプレゼントしていますので、お立ち寄りください。



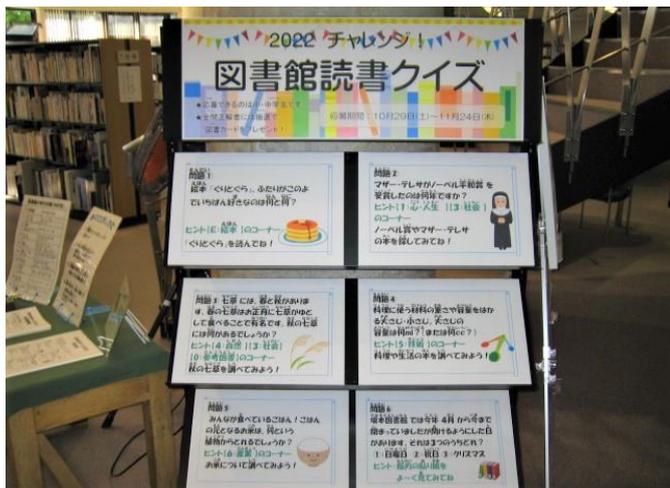
★集まれ!!小中学生

「図書館読書クイズ」

11月24日(木)まで

今年も恒例行事の「図書館読書クイズ」を開催します。対象は小中学生。図書館の本で調べて、答えてください。全問正解者には記念品をプレゼント！(正解者多数の場合は抽選となります。)

詳しくは図書館窓口で!!



展示のご案内

★ メイン展示

「BOOK WEEK 2022」

展示期間 11月24日(木)まで

メイン展示は読書週間にちなみ、

- ・旅行気分を味わいたい
- ・グルメ本大集合
- ・最近の受賞作を楽しもう
(直木賞・芥川賞・本屋大賞)

という3つのコーナーを設けました。



●メイン展示図書(抜粋)

- 「365日日本一周絶景の旅」
- 「悶絶ずぼら飯」
- 「おりたたみ自転車はじめました」
- 「肉炒め」
- 「星落ちて、なお」
- 「52ヘルツのクジラたち」

高知みらい科学館 モバイルミュージアム

目の錯覚により、動いていないのに動いているように見える平面作品を展示中です。

リングや円盤が回ったり、へびが動いて見える作品があります。

立ち止まってよ～く見てみてくださいね。



読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

湊かなえのことば結び

湊かなえ 著
角川春樹事務所

2020年に著者がパーソナリティを務めたFM大阪の番組「湊かなえのことば結び」を書籍化。

新型コロナウイルスの蔓延により生活は一変し、暗い日々の中、ラジオを通したリスナーとの温かな交流、小説講座、おすすめ本など著者の魅力が満載となっています！

明日への元気が湧いてくることばとともに癒されてみてください。

(児童)

作って発見！西洋の美術

音ゆみ子 著
東京美術

ボッティチェリ《ヴィーナスの誕生》・ゴッホ《星月夜》・マグリット《大家族》など、西洋美術の代表的な絵画をヒントに楽しい工作を提案。見るだけでなく、作ることで美術がより一層楽しめ、味わえることを教えてくれる一冊です。また画家の紹介はもちろん、作っていると見えてくる絵画の世界も解説。制作と鑑賞の両面から新しい発見に出会えます！

芸術の秋、親子で読んで作ってみませんか？

(一般)

生き物たちよ、なんでそうなった！？

五十嵐杏南 著
笠間書院

地球に生きる生き物たちは、さまざまな過程を経て今の形に進化していきました。

13、17年周期で大量発生するセミ、恐竜に追いやられて夜型生活になった哺乳類など、どうしてそうなったのか生き物たちの進化の理由を知ってみるのはいかがでしょうか。生き物たちの不思議な生存戦略を謎解く楽しい一冊となっています。

(児童)

雨の日は好きな人

佐藤まどか 著
講談社

小学六年生になる七海は、母親の再婚によって父親と姉ができた。でも二歳上の姉・幸は生まれつき体が弱く、ずっと入院をされていてなかなか会わせてもらえない。みんなが幸に付きっきりな現状を次第に嫉妬していく七海。そんな時、誰にも内緒で姉の病院を訪ねていくことを決めた七海だったが、そこで待っていた現実とは…。

複雑な家庭環境の中で、葛藤しながら揺れ動く少女の心の成長を描いています。

※本の紹介文は、スタッフが作成しています。

「やさしいかいじゅう」とひさまつまゆこさん 山下量子

先日、宿毛文教センターで開催された「絵本『やさしいかいじゅう』の作者がやってくる♪♪」に参加させてもらった。

会場では絵本作家のひさまつまゆこさんによる絵本が出来るまでのエピソードが赤裸々にトークされて、とても意義深い時間だった。その時に、私のお話に触れていただいて、遠い昔の記憶がよみがえった。

それはもう何年も前に遡る。

私の知り合いの知り合いから、絵本の原画展を土佐清水市のまだ二十代の女の子が開催している、と聞いた。若いのに偉いなあと感じて、その原画展が当時開催されていた高知の沢田マンションまで、私は足を運んだのだった。

沢田マンションは「軍艦島マンション」とも呼ばれる独特の構造で、その建物自体にアーティスティックな雰囲気を感じた。個展が開催されている一室に入ると、「やさしいかいじゅう」さんと目が合った。

6本の足。黒い胴体。おもわず顔がほころぶ可愛いお顔のかいじゅうさん。

1つ1つの絵を楽しみながら足を進めて、最後に置かれてあったのが、手作り絵本「やさしいかいじゅう」だった。

私はそれを手に取り、読み終わった後、じんわりと心が温かくなったのを今でも思い出す。

作者の心の美しさと優しさが、絵とストーリーを通じてダイレクトに私の心に伝わって、とても素晴らしい作品だと思った。

そこに書かれてあったのが

「いつかこの作品を本当に絵本にしたいです」という確か、そんな文言だった。

確かに、この絵本は、たくさんの人に見て貰わなくてはいけない。沢田マンションに足を運んだ人だけが見られるのでは、勿体なさすぎる。本当に絵本となって、たくさんの人の手には渡らなければ。そう強く思った。

その時、私が思いついたのは、絵本製作のために資金を集めるということだった。制作費は100万円以上はかかるだろう。それを自分の縁を頼って、頭を下げて、資金集めに走ろうと私はその日、決めた。

そんな時、梓会の主催する梓立祭が開催された。名誉市民でもある坂本嘉廣様の奥様の坂本喜杏様が出版会社である株式会社富山房インターナショナルの代表をつとめられていらっしゃるのを知っていたので、その場をお借りして、絵本の話と相談した。私的には、少しだけ、出版費を安くしてくださらないかしら？と実はほのかな期待を抱いていたのだ。

すると、まずは絵本の内容を見せて欲しいとのことで、それこそまだ顔も合わせたことのなかったひさまつまゆこさんに友人を通じて連絡を取り、貴重な絵をお借りし、東京の神保町まで足を運んだのだった。

富山房インターナショナルは宿毛の偉人である坂本嘉治馬からはじまる長い歴史を持つ由緒ある出版会社だ。現坂本図書館も坂本嘉治馬なくしては語れない。そんな場所に、足を運ぶにはドキドキしたし、私的には勇気も必要だった。緊張しながらお話しし、絵を見せた。坂本喜杏様は、本当に気さくに接してくださり、「素敵な作品ね」と褒めてくださった。

東京をあとにして宿毛に帰りしばらくすると、一本の電話がかかってきた。坂本嘉廣様からのお電話だった。

「絵本を出しましょう。土佐清水市の女の子を応援したい。資金は私が理事長をつとめる公益財団法人坂本報効会で全額出します」と。

へ！？

一瞬、何が起こったか、分からなかった。私は、全ての資金を出してもらおうなんて、みじんにも思っていなかった。それがその電話の一言で資金集めが終わってしまったのだ・・・。

そして数ヶ月後、絵本「やさしいかいじゅう」は製本されて私の手元にやってきたのだった。

本当に、あの時の坂本ご夫妻のご決断とご協力には感謝してもしきれない・・・。

そんなことを思い出しながら、その会場で感じたのは、「作品が人を動かす」ということだった。優れた作品は、人を感動させ、人を動かし、その感動は伝播するのだと。

まゆこさんは、自分は何にもしていないと謙遜されていたけれど、彼女の素晴らしい絵、そしてその純粋な心、人を思いやれる心。それが絵に息吹を吹き込み、私や他の人々を動かさせた。

そして今でも彼女が生み出した命、その絵本が、人と人をつなぎ、愛と感謝が連鎖している。その会場に集まった人たちも愛情あふれる素敵な人たちばかり

で、ああ素晴らしい作品は、素晴らしい人たちをつなぐんだなあ、そうしみじみと感じた。そんな素敵な会だった。



絵本作家ひさまつまゆこさん

～新着図書のご紹介～

一般図書



- 0 「絶版本」 柏書房編集部
 1 「へんろ道、うどん道」 鈴木弘毅
 2 「『吾妻鏡』にみるここがヘンだよ！鎌倉武士」 羽生飛鳥
 3 「普通の若者がなぜテロリストになったのか」 カーラ・パワー
 3 「白バイ隊員交通取り締まりとほほ日記」 洋吾
 3 「安倍総理のスピーチ」 谷口智彦
 3 「有料老人ホーム三ツ星ガイド」 介護の三ツ星コンシェルジュ編集部
 4 「面白くて眠れなくなる宇宙」 高水裕一
 4 「地震と火山の観測史」 神沼克伊
 4 「運動しても痩せないのはなぜか」 ハーマン・ポンツァー
 5 「60代ひとり暮らし明るく楽しく生きる術。」Mimi
 5 「よくわかる基礎かぎ針編み」 河合真弓
 6 「獣医師を目指す君たちへ」 中山裕之
 7 「茶花の見分けかた、育てかた」 塩見亮一
 8 「漢字の成り立ち図解」 落合淳思
 9 「俳句いまむかし みたび」 坪内稔典
 9 「瓢箪から人生」 夏井いつき
 9 「湊かなえのことば結び」 湊かなえ
 9 「はぐれんぼう」 青山七恵
 9 「機械仕掛けの太陽」 知念実希人

※左側の数字は図書の分類を表しています。
 0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
 5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- 「昔の道具で郷土ごはん」 農文協
 「知りたい！行ってみたい！なぞとき絶景図鑑」 増田明代
 「睡眠の大研究」 櫻井武
 「わら細工 生活用具としめ飾り」 瀧本広子
 「おいしい魚ずかん」 上田勝彦
 「にほんごをまなぶえほん」 スーザンももこ
 「ひみつの犬」 岩瀬成子
 「雨の日が好きな人」 佐藤まどか
 「やまもも」 高知県児童詩研究会
 「スノーマン」 マイケル・モーパーゴ

絵本



- 「ぼくとお山と羊のセーター」 飯野和好
 「にだんべっど」 斉藤倫
 「クリスマスのおとしもの」 えがしらみちこ
 「がんばれけしもぐ」 のもあみた
 「きょうはおうちでうんどうかい」 新井悦子
 「パンどろぼう おにぎりぼうやのたびだち」 柴田ケイコ
 「おすしがふくをかいにきた」 田中達也
 「さよならぼくたちのようちえんほいくえん」 新沢としひこ

★このほかにもたくさんの図書が入っております。
 図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、
 そちらもぜひご覧ください。

11月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日・祝 10:00～18:00
 ホームページ <https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-25/p010805.html>
 メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp

は休館日



【図書館HP】

